特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 562 号] 令和 4 年 12 月 25 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

「草加市自主水防団」

救助艇 5 艇/人命救助訓練

12 月 25 日(日)、定例救助訓練に木村、古田、佐藤ご夫妻、間宮、相原親子、伊藤、並木、木下、磯部親子、遠藤、渋谷、石田、坂田、石田健、林和、林豊、吉良、長谷川、田中志、浅井、井坂の 24 名が救助訓練とゴミ拾いを実施。**蒲生船着場間 2.1 kmで 10 袋分、布団、タイヤ、ヘルメットの成果**でした。

救命浮環投てき!

救助艇 5 艇出艇。「あやせ丸 1 号艇」船長相原・伊藤、**「2 号艇」**相原崚・並木、**「3 号艇」**林・井坂、**「4 号艇」**木村・遠藤、**「6 号艇」**吉良の各氏が船長、副船長を務めました。

訓練課題①

落水者の救助!

「かさね橋」と「蒲生船着場」の 2 か所で落水者への救命浮環投てき訓練を実施しました。**「落水者発見!」と声を出し救命浮環を投てき**し引き寄せます。落水者の元気度に応じて臨機応変の対応をします。それぞれの場所で船長・副船長が交互に実施し、声の出し方、浮環の投てき法を学びました。

救助艇５艇/緊急物資輸送

訓練課題②

水と医薬品の輸送!

それぞれの救助艇にペットボトルの水 100ℓと医薬品・生理用品を積んで蒲生船着場へ上陸し**蒲生愛宕町会館へ避難している方たちへ緊急物資輸送（仮想）を実施**しました。

「まつばら綾瀬川公園」は、緊急物資輸送の集積所になっています。自衛隊ヘリコプターや県救援ヘリコプターなどで運び込まれたものを**左岸防災船着場から水路を使って輸送**します。**大震災で陸路が閉ざされた時に、ヘリと救助艇の連携が必要になってきます。**今回は、**大地震で蒲生地域の方たちが蒲生愛宕町会館へ避難**している事を想定して**救援物資輸送**が実施されました。**蒲生船着場は物資引上げに大変適した構造になっています**のでとても使いやすく感じました。

備えよ常に!

私たちは、**大震災と利根川決壊の大洪水に備えています。**埼玉県・東京都の東南部地域は**明治 43 年と昭和 22 年の 2 回に亘る利根川決壊で甚大な被害を受けた**ことを経験しています。**今後これらから学び工夫と努力を重ねて参ります。**